対象がん腫	ﾚｼﾞﾒﾝ番号	ﾚｼﾞﾒﾝ名	ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ	催吐性	血管への影響
大腸がん	R03608	FOLFIRI療法+ﾍﾞﾊﾞｼｽﾞﾏﾌﾞ	14日	中等度	ﾍﾞﾊﾞｼｽﾞﾏﾌﾞ：非炎症性 ｲﾘﾉﾃｶﾝ：炎症性 ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ：炎症性

留意事項

ﾍﾞﾊﾞｼｽﾞﾏﾌﾞは血圧が150/100未満で、2回目は60分、3回目以降は30分で投与可（※1）
ｲﾘﾉﾃｶﾝ投与と同時に側管からﾚﾎﾞﾎﾘﾅｰﾄを投与（※2）
持続点滴のﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙは、全量95mLでｲﾝﾌｭｰｻﾞｰﾎﾟﾝﾌﾟ2mL/hrで投与（※3）

Rp	薬品名	投与量	投与方法	d1	d2	d3	d4	d5	d6	d7	d8	d9	d10	d11	d12	d13	d14
1	生食『100mL』（光）生理食塩液 アロキシ静注0．75mg（5mL） ﾃﾞｷｻｰﾄ6.6mg注/2mL	1本 1本 1本	点滴 30分	↓													
2	生食『100mL』（光）生理食塩液 ベバシズマブBS点滴静注	1本 5mg/kg	点滴 90分	↓ ※1													
3	5%ブドウ糖注射液《200mL》「ﾌｿｰ」 レボホリナート点滴静注	1本 200mg/㎡	側管 点滴 2時間	↓ ※2													
4	5%ブドウ糖注射液(500mL) イリノテカン塩酸塩点滴静注液	1本 150mg/㎡	点滴 2時間	↓													
5	生理食塩液（光)【50mL】 フルオロウラシル注	1本 400mg/㎡	点滴 10分	↓													
6	生食《50mL》（光）生理食塩液	1本	点滴 5分	↓													
7	生食《50mL》（光）生理食塩液 フルオロウラシル注	1本 2400mg/㎡	持続点滴 46時間	↓ ※3													